



学校だより

三年先の稽古

発行：校長 益子 朗

東西しらかわ中学校音楽祭

(合奏・合唱)も中止！

先日、中止が発表された中体連県南大会に続き、東西しらかわ中学校音楽祭(合唱・合奏)も中止の決定が伝えられました。これまでも残念なニュースです。音楽部の諸君や、これから特設合唱部で頑張ろうとしていた諸君にとってはショックだったでしょう。

しかし、聖流祭や、大信地域の行事での演奏は消えていません。校歌にある「歌う大信(右下)の名に恥じぬよう、秋の文化的行事に向かって仕上げていきましょう。一方、中体連大会が中止になった運動部の諸君は、練習試合・交流試合に臨んでいます。当日の健康状態に問題が無いことは勿論、

- ①保護者の参加承諾書の提出
- ②当日朝、検温の上での健康チェックシート提出
- ③各自、保護者引率で現地集合・解散

という厳しい条件下での実施と、大事なルールをしっかりと守つて、上から、貴重な試合の機会を大切にしたいと思えます。選手諸君のフェアプレー、全力プレーを望みます。



この斜面には造成当時、松の木などの苗が植樹されましたが、最近では雑草が伸び放題になっていました。実は昨年の奉仕作業で、この斜面の刈り取りをしてくださったのも、鈴木正美さんでした。

心から感謝！

左の写真は、生徒の皆さんが毎朝登ってくる校庭脇の坂道です。その東側の斜面は階段状になっており、足場が悪く、先日の早朝奉仕作業でもなかなか手がつけられず、大変な状態でした。

すると、それを聞きつけた去年度のPTA本部役員・鈴木正美さん(亜季さんのお父さん)が、一人で日曜日に雑草を刈り取ってくださったのです。おかげで心から感謝申し上げます。

校長のつぶやき

私が学校で習った「震災」と言え、一九二三年年に起こった「関東大震災」のことです。まさか自分の生きている間にそれ以上の震災が発生するとは想像もしていませんでした。それが一九九五年の「阪神淡路大震災」、そして二〇一一年の「東日本大震災」と、予想だにしないような震災が発生したのです。他にも巨大台風、火山の噴火、豪雨災害など、近年は大きな自然災害が頻発しています。

そして今回の新型コロナウイルス感染症。現代はどんな災害が起こればいいのか、想像ができません。まさに「想定外」の災害を想定しなくてはならない時代です。この分では、宇宙人が襲来することすらあり得ないと言えないのではないかと思います。

と、ところで、関東大震災では約10万人、阪神淡路大震災では6千人余り、東日本大震災では2万5千人余りの死者が出ています。一方、今回の新型コロナウイルス感染症による死者は日本国内で8百人余りです。死者の数ではこれまでに災害に比べて多いとは言えません。しかし、アメリカなどでは10万人以上の死者が出るなど、世界的には大惨事です。

ワクチンや特効薬が開発されていない以上、* * * * * 日本でも一歩間違えば、* * * * * 死者の数が増え、* * * * * 可能性もあり、* * * * * 決し



油断できません。そして、人々の自由な生活行動を奪い、経済や社会を破壊し、果ては人々の心まで蝕む恐ろしいウイルスです。災害の発生を防ぐことは難しいでしょう。要は、発生してからの適切な対応が問題なのです。今回のコロナ危機では、十分な予防や対策をして、死者や感染者をできる限り減らす努力が大切です。

ウイルスが相手ですから、どんなに警戒してもかかってしまう可能性があります。黄熱病の研究中にまさかご自身が感染して亡くなると思わなかったはず

しかし、緊急事態宣言が解除されたとしても、危機意識が十分とは言えません。仮に感染してしまつたとしても、十分に注意を怠らなかつたのに、感染を十分防げたのに、注意せずに感染してしまつたというのでは、まったく意味が違ふと思います。お互いに細心の注意を続けましょう。

と、ところで、日本史上最大の死者を出した出来事は、大震災でも感染症でもありません。それは、約300万人が犠牲になりました。戦争は、自然災害や疫病と違って、防ぐことができません。戦争だけは、二度と起こしてはならない過ちだと思えます。

自然災害や疫病と違って、防ぐことができません。戦争だけは、二度と起こしてはならない過ちだと思えます。

自然災害や疫病と違って、防ぐことができません。戦争だけは、二度と起こしてはならない過ちだと思えます。

